

公聴会で出た公述人のご意見（抜粋）

○賛成

- ・人口減少と少子高齢化により効率化が重要。
 - ① 3000 万円近いコストの削減、この財源を市民サービスへ。
 - ② 市民の声が届きにくくなることへは IT の活用を。情報発信、市民参加の仕組みづくりを。
 - ③ 議員一人一人の責任が明確になる。少数精鋭で透明性の高い議会に。
 - ④ 議員の負担増には事務局機能の強化、IT の活用で対応を。
-
- ・議員の活動が見えていないし、もっと議員を減らして市民の為に税金を使って欲しい。

○反対

- ・削減には賛成、3名という数字に合理性を感じない。
理由①議員の稼働率②常任委員会3、3の倍数プラス議長=22人、16人など③可否同数にならないよう議長を含み偶数に
- ・地元の議員はこれまで市民生活向上のためにがんばってくれた。
人口減少が著しいわけでもない。議員は身近にいてほしい。
地元に議員さんがいるだけで、何不自由なく暮らしていく、安心安全が違う。
- ・市民の意見を聴くならば、50人でも100人でもいい。
3人減らすことの根拠が分からぬ。
削減できるという3000万円で大したことはできない。
削減なら給料を減らせばいい。もっと働けばいい。

市議会の存在自体に問題がある。

- ・① 市民の意見を聽かず、短期間で進めようとしている。
 - ② 定数を減らせば受け持つ市民の数が増え、少数意見が届きにくくなる。
 - ③ 削減できるのは我孫子市の予算全体の 0.05%程度で財政的な効果はほとんどない。
 - ④ 他市の例を見ても参考になることはなく、千葉県平均で言えば少ないくらいである。
 - ⑤ 市民の人口に比較して議員の数が少ない市では投票率も低い。市政への関心が低下する懸念が大である。
-
- ・少子高齢化は理由にはならない。
人口減と言っても、全国平均、千葉県平均と比べ多すぎる状況でもない。
厳しい財政状況と言っても、すぐさま財政再建団体になるということでもない。
議運で盛んに議論されたのかと思えば記録はない。
様々な市民サービスの向上、前進も見られない。
-
- ・①削減の目的、理由がわからない。議事録にもない。予算の削減であれば、議論は定数の削減からではない。
 - ②何人が良いのかの議論が必要。
 - ③議会改革とされているが、それは定数削減ではない。改革の議論も何もない。市民の声をきちんと集める組織を作ってほしい。
-
- ・①住民の多様な声を反映する力を弱める（少数意見の切り捨て）。

- ②行政をチェックする機能強化に逆行。
- ③女性、若者の進出を困難にする。
- ④議員一人当たりの市民の声は減少する。